



暁峰祭を終え、夏休みに向けて

◆暁峰祭で得た大きなエネルギーを次のステップへ

令和6年の第68回暁峰祭「Gustsy」が終わりました。1年生には初めての高校の文化祭、2年生には新クラスで初めての暁峰祭でした。万事が3年生のパワーに圧倒されたことと思いますが、皆さんも随所に輝いていました。来年の活躍を大いに期待しています！

暁峰祭を通じて成長した自分を自負し、力を合わせた仲間とともに次のステップへと進みましょう！

◆キャリア学習、探究学習にむけて

これから、長野吉田高校では様々なキャリア教育、探究学習、就業体験等の機会が設けられます。そして、1, 2年次の長期休業は教科学習にも、進路研究にも貴重な時間です。各学年や教科から用意される課題に、じっくり腰を据えて取り組んで欲しいのはもちろんですが、各所で実施される様々な事にもアンテナを張ってみてください。担任の先生方からいくつか案内がありませんでしたか？自らの志望分野について興味深く調べ、行動した経験は、3年生の時に、あるいはそのもっと後で、皆さんを助けることがあるかもしれません。皆さんの行動力に期待します。

大切なのは、疑問を持ち続けることだ。
神聖な好奇心を失ってはならない。
アルベルト・アインシュタイン



①学習合宿

1 学年（黒姫高原）	8/19～21	235 名
------------	---------	-------

②就業体験

医療分野	長野中央病院 看護体験	8/3、7	2 名
	長野日本赤十字病院 //	8/1	5 名
	長野市民病院 //	7/31、8/8	12 名希望
教育・保育分野	東部中学校学習チューター	7/22	募集中
	長野市立吉田小学校	11/12	後日募集
人文分野	高校生の一司法書士体験	8/8	1 名
	長野地方検察庁 職場体験	調整中	2 名

③進路学習

大学生と語る会（卒業生合格体験談、グループワークなど）	8/27	募集中
信州大諏訪東京理科大 理系学生クロストーク講座	11/12	後日募集



7月の目標

1年生 1学期を振り返り、今後につながる夏休みの計画を立てる

2年生 来年の夏は受験生の夏、いまやるべきことを確実に実行する

◆サタデーセミナー…7/6（土）

英数国を中心に学力向上を図る目的で、模擬試験対策が主な内容になります。各学年や教科からの連絡に留意してください。

◆成績会議…7/10（水）

全生徒の成績と学習状況が報告され、全校の先生方が確認する会議。皆さんも通知票を通じて、1学期の学習状況をしっかり見直しましょう。また、小中学校と高校の大きな違いが単位の履修と修得です。修得には各授業への出席はもちろんですが、一定の成績を残す必要もあります。最終的には、その科目が認定されなければ進級することはできません。各教科から課題や補習の指示があれば、かならずクリアーすること。

◆進研記述模試…7/13（土）

1年生にとっては、初めての全国模試となります。『大学入試は全国区』である以上、自分の受験学力を定期的・客観的に知ることがきわめて重要であり、3年生では各社の模試を月に1回ほどのペースで受験します。1, 2年生の皆さんも、日々の学習が進路実現に対して十分であるか否かを確認する機会としてください。また、模試の出題者は「解答解説」の作成に3分の2以上の労力をかけているそうです。つまり、決して安くはない模試は“受けただけ”では価値が半減してしまうのです。受験後には復習にもしっかりと取り組んで、100%の活用を図りましょう。

◆午前授業・三者懇談会・終業式…7/19（金）～25（木）

生徒・保護者・学級担任との懇談会。1学期の振り返りと夏休みの過ごし方、さらに2学期以降の文理選択や科目選択が話題となることと思います。懇談会を一つの機会として、自分の進路希望を明確にしましょう。

◆夏期休業【30日間】…7/27（土）～8/25（日）

いよいよ、夏期休業となります。教科学習はもちろんですが、班活動以外の取り組み、読書や進路研究、各種学校のオープンキャンパスへの参加など、有意義な夏休みにしましょう。

今月の3年生

「3年生の夏＝受験生の夏」

暁峰祭を終えた3年生は、いよいよ本格的に受験生へ。7/30までは1日5時間特編授業の夏期講座。8/6～9は夏期集中学習。8/19～23には希望者補習（5教科）が組まれています。“人生で最も勉強した夏へ”向け、ガンバレ、3年生！



7月	
1月	●
2火	○ 振替休日(6/29)
3水	月曜授業
4木	SC
5金	
6土	○ サタセミ[1・2]
7日	○
8月	
9火	
10水	P 5分短縮
11木	心と命の講演会 SC
12金	
13土	○ 進研記述模試[1・2・3]
14日	○
15月	○ 海の日
16火	修学旅行検診
17水	
18木	SC
19金	A ①②③
20土	○
21日	○
22月	④⑤⑥
23火	④⑤⑥
24水	④⑤⑥
25木	①②③
26金	①②③ 終業式
27土	○
28日	○ 体験入学
29月	○
30火	○
31水	○

※印は自習室開放日

オープンキャンパスへ参加しよう！

オープンキャンパスは学校の実際の雰囲気やカリキュラムを体験するチャンスです。学校の教員や学生と直接話し、質問や疑問を解消できます。さらに学科やコースの紹介や模擬授業体験など、進路選択に役立つ情報を得られます。異なる学校を比較し、自分の興味や適性に合った学校を見つけましょう。質問を用意して積極的に参加し、将来の進路決定に向けた大切な一歩としましょう。自分の選択肢を広げ、夢や目標に向かって進んでいきましょう。

●長野県内国公立大学オープンキャンパス

長野県立大学

グローバルマネジメント学部・健康発達学部
7/14、8/17、8/18

信州大学 長野キャンパス

工学部 7/20、10/12
教育学部 8/2

信州大学 松本キャンパス

ミニオープンキャンパスin松本
7/28対面、8/4 オンライン
医学部保健学科 7/20
医学部医学科 7/21
人文学部 7/20
理学部 7/20
経法学部 7/20

信州大学 上田キャンパス

繊維学部 8/3、10/12

公立諏訪東京理科大学

工学部 情報応用工学科・機械電気工学科
8/3、4

信州大学 伊那キャンパス

農学部 7/20

長野県看護大学

看護学部 8/3

※詳細は各大学のホームページを確認すること

OPEN CAMPUS CHECKLIST (マナビジョンHPより)

- アクセス 交通手段や交通費、所要時間などは問題ないか？
- 授業 興味のある学問を学べるか？魅力的な先生がいるか？
専門以外にも興味のある授業があるか？魅力的な先生がいるか？
- 資格・就職 めざす資格が取得できるか？合格率は？
就職指導の内容は十分か？実績（就職率や就職先）は残されているか？
インターンシップや留学制度は充実しているか？
- 施設 研究室・実験室などの施設は充実しているか？
図書館やAVルームなどの学習施設・環境は充実しているか？
寮や食堂、運動施設などは充実しているか？
- 雰囲気 クラブ・サークル・学園祭などは楽しめそうか？
学校周辺の雰囲気・環境は？

オープンキャンパスの思い出

大学は何を基準に選べばいいだろうか。もちろん「学びたいことに打ち込めるかどうか」が一番大切な基準なのだけれど、「学びたいこと」とは一体何なのだろうか。よくよく考えてみると、「興味あるような無いような、でも何となく経済学？」くらいで、「国際経済学を詳しくやりたい。とりわけ、変動相場制における金融政策の有効性について分析したい。」と踏み込んだことを言える人はほとんどいないのではないかな。

高い学費をかけるのなら少しでも意味ある学びをしてほしい。そのために、学びたいことはある程度具体化しておきたい。そこでオープンキャンパスだ。大学の雰囲気を目にみるといっただけでなく、学びたいことをより具体化するきっかけづくりにもなりうる。

少し思い出話をしてみたい。高校生の夏である。もともと哲学をやりたいとは考えていたが、オープンキャンパス参加から、より学びたいこともはっきりして、学ぶ意欲も高まったことを思い出す。当時好きだった科目が世界史と倫理で、それ以外はあんまりやる気も持っていなかったのだが、その時に聞いた哲学の先生の話から意識が変わった。

「大学で哲学を学びたいと思っている高校生にとって、高校での学びは進学したあとの準備といっただけでいい。高校で学習する知識を使うというだけではない。例えば高校の教科書に登場する内容にも疑いがあるものや問い直すべき話題は多くある。大学での学びは、常識だと思われてきたことや定説とされるものであっても疑ってみたり、問い直したりしていくことに価値がある。そのとき、疑うべき対象を正確に知らずして、その真価を問い直すことが可能であろうか。また、こうした分析は日本語文献だけでなく、英語をはじめとした外国語文献にも依拠して行うが、言語を扱う力（国語や英語）が欠かせない。」

こんな趣旨の話聞いた。この程度でといえれば変な話だが、目から鱗だった。当時の私にとって大学へ入るための手段でしかなかった高校の学習が、この言葉で、大学の学びへ直結するものへと転換された。学びたいことも少し踏み込んだことが言えるようになった。

具体的に言えば「ヘーゲルの歴史哲学的視点から世界史の意義を問い直してみたい」（世界史と倫理、好きな科目に関することを関連させて深めてみるのもありだ!）とか、「カントがいう宇宙は無限か有限かのアンチノミーをどう評価してやるか」（好きな倫理と地学、だけでなく、苦手な数学も好きな分野にひきよせて考えてみるか!）だとかいったものだ。

今にして思えば壮大到過ぎるもので恥ずかしい限りだが、高尚でまだまだ遠いところと思えた学問を、身近な学習を題材に始めていいんだと思えた瞬間、とてもワクワクする気持ちになったことは確かだ。

